

冬～春出しシュクコンカスミソウの2回摘心9本仕立て法

農業研究センター 農産園芸研究所 花き部

研究のねらい

シュクコンカスミソウは、従来、摘心により3～6本の側枝を伸ばし、その側枝を元切りとして、2次側枝を枝切りとして切花しているが、元切りと枝切りの品質格差が大きく、品質の優れる元切りの収穫本数が少ないので、2回摘心9本仕立てにより切花品質の均一化を図る。

研究の成果

2回摘心9本仕立ては、1回摘心3本仕立てや5本仕立ての元切りに比べ、ボリュームは劣るが、元切りと枝切りの中間的な切花が揃って得られる。

1. 切花形質

- (1) 2回摘心9本仕立てと1回摘心3本及び5本仕立ての元切りでは開花日には大差ない。
- (2) 2回摘心9本仕立てでは、切花長80cmでの切花重、茎径は、1回摘心3本及び5本仕立ての元切りより劣るが、枝切りより優れており、元切りと枝切りの中間的な切花が揃って得られる。
- (3) 花序の分岐数、切花の曲がり、2回摘心9本仕立てと1回摘心3本及び5本仕立ての元切りとほとんど差が無い。また、花序内の節間長はわずかだが短くなる。

2. 摘心方法

- (1) 1回目の摘心は従来通り行う。
- (2) 2回目の摘心は、側枝の生育が進み、開花枝が展開を始める頃では切花長、切花重、茎径が劣るので、側枝長40cm前後の発蕾前が適期である。
- (3) 2回目の摘心は、腋芽を3～5本残して行う。
- (4) 細い側枝からはボリュームのある切花は得られないので、細い側枝の2回目の摘心は行わない。
- (5) ボリュームの不足する秋出しの作型では行わない。

表 1 仕立て法が開花及び切花形質に及ぼす影響

	仕 立 て 法	平 均 開花日	節 数	花序の 分岐数	茎 径	切花重	曲がり
		月 日			mm	g	cm
元切り	2回摘心9本仕立て	2 22	9.2	6.0	3.3	36.6	35.4
	1回摘心3本仕立て	2 24	8.6	5.9	4.2	49.4	35.0
	1回摘心5本仕立て	2 13	8.8	6.0	4.2	49.3	34.9
枝切り	1回摘心3本仕立て	3 2	9.5	5.4	2.7	20.7	35.8
	1回摘心5本仕立て	2 21	9.7	5.2	2.7	19.4	33.1

注) 調査は切花長80cmの切花について行った。
曲がりは切花基部を水平に固定したときの頂花の下垂距離

表 2 2回目摘心時の側枝の生育

2回目摘心日	側枝長	展開葉数
12月 1日	30cm	9.2対
12月 7日	46	11.4
12月 12日	64	14.4

表 3 2回目の摘心時期が開花及び切花形質に及ぼす影響

2回目 摘心日	平 均 開花日	切花長	節 数	花序の 分岐数	茎 径	切花重	曲がり
	月 日	cm			mm	g	cm
12月 1日	2 29	104	12.5 (8.7)	6.0	3.4	56(34)	35.1
12月 7日	2 29	103	12.2 (8.5)	6.0	3.3	55(33)	34.8
12月12日	2 26	97	12.1 (9.2)	5.8	2.9	44(32)	36.6

注) 節数と切花重の()及び茎径は切花長80cmの値
曲がりは80cmの切花基部を水平に固定したときの頂花の下垂距離